

令和元年第7回茂原市教育委員会会議（11月定例会）日程

日時：令和元年11月19日（火）15時～

場所：茂原市役所9階901・902会議室

1. 開会宣言

2. 会議録署名人の指定

3. 会議事項

（議決事項）

議案第1号 茂原市教育委員会感謝状受賞者の決定について

（報告事項）

- 1 令和元年度9月補正予算について
- 2 第3回二宮小学校・緑ヶ丘小学校統合準備委員会について
- 3 令和2年茂原市成人式について
- 4 令和2年茂原市教育委員会会議等の日程について
- 5 行事の共催、後援及び協賛について
- 6 令和元年第8回（12月定例会）及び令和2年第1回（1月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について
- 7 その他

4. 閉会宣言

（会議結果）

議決事項について、議案第1号は原案どおり可決されました。

## 茂原市教育委員会会議録

### 令和元年第7回（定例会）

- 1 期日 令和元年11月19日（火）  
開会 午後3時00分  
閉会 午後3時40分
- 2 場所 茂原市役所9階会議室
- 3 出席委員  
教育長 内田 達也  
教育長職務代理者 齋藤 晟  
委員 高貫 裕一郎  
委員 高仲 輝夫
- 4 出席職員  
教育部長 久我 健司  
教育部次長（教育総務課長） 渡辺 裕次郎  
学校教育課長 保川 浩基  
生涯学習課長 佐久間 尉介  
体育課長 山本 茂樹  
中央公民館長 岡田 公一  
美術館・郷土資料館長 三階 英幸  
東部台文化会館長 中澤 浩子  
学校教育課主幹 金坂 暁  
学校教育課主幹 金澤 勤  
学校教育課主幹 植草 佳代子  
教育総務課長補佐 川崎 弘道  
教育総務課総務係長 小安 宏尚
- 5 署名人の指定  
委員 高仲 輝夫  
教育長職務代理者 齋藤 晟
- 6 傍聴人 7名

内田教育長 : ただいまから、令和元年第7回茂原市教育委員会会議（11月定例会）を開会します。

本日の出席人数は、4名ですので、定足数に達しており会議は成立いたしました。

本日の会議録署名人は、「高仲委員」と「齋藤委員」を指定いたします。

なお、本日の会議には新任の教頭先生7名に出席いただいております。

後ほど、職場における近況、課題等について、お話をお聞かせいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします

これより会議事項に入ります。本日は、議案が1件となっております。

それでは、議案第1号「茂原市教育委員会感謝状受賞者の決定について」説明をお願いします。

久我教育部長 : 議案第1号、茂原市教育委員会感謝状受賞者の決定につきましてご説明申し上げます。

本案は、茂原市教育委員会感謝状贈呈規程第2条2号「市の教育活動に対し、通算10年以上ボランティアに従事した者」として7名を、各小学校の教育活動に貢献された方として表彰するものです。

主な功績としては、楽しい外国語活動の実施による学習活動の充実、継続的な交通安全指導や見守り活動での子どもの安全意識の向上、読み聞かせ活動や図書室の環境整備での読書活動の推進、青少年健全育成をねらいとした地域の諸行事の運営支援などであります。

以上、ご審議よろしくお願い申し上げます。

内田教育長 : それでは、議案第1号について質疑をお願いします。  
齋藤委員 : 皆さん2号該当ということですが、他に何号があって、どういったものになっているのでしょうか。

保川 : 他にもう1号ございまして、多額な寄付行為をした方となります。

学校教育課長 : 多額というのはどれくらいの額なのでしょうか。  
齋藤委員 :

保川 : 100万円以上となっております。

学校教育課長 : ありがとうございます。  
齋藤委員 :

内田教育長 : 他にありますでしょうか。  
よろしいでしょうか。それでは、議案第1号について採決に入ります。  
議案第1号について、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。

各委員 : 異議なし。

内田教育長 : 議案第1号は、全会一致で原案どおり可決することと決定いたしました。  
次に、報告事項に入ります。報告事項1「令和元年度9月補正予算について」説明をお願いします。

渡辺 : 報告事項1「令和元年度9月補正予算について」ご説明申し上げます。  
教育部次長 : この内容は、9月に開催されました茂原市議会9月定例会に提出し可決されたものでございます。

この度の補正では、歳入につきましては、学校教育課で3,772万9千円の減額補正、歳出につきましては、教育総務課で4,528万7千円、東部台文化会館で460万2千円の増額補正を行いました。

説明は以上となります。よろしくお願いいいたします。

内田教育長 : それでは次に、報告事項2「第3回二宮小学校・緑ヶ丘小学校統合準備委員会について」説明をお願いします。

保川 : 報告事項2「第3回二宮小学校・緑ヶ丘小学校統合準備委員会について」ご説明申し上げます。これまで統合準備委員会では委員への委嘱状の交付、委員長副委員長の選出、今後の予定、統合校の名称の決定の仕方や公募方法、遠距離通学者の通学対策などについて協議をしております。第3回統合準備委員会は11月4日に行われ、委員11名、欠席者1名のもと行われました。当日傍聴者は7名ございました。

統合準備委員会ではまず新校名の公募結果について、区分別応募状況、集計、新校名案の理由などを報告いたしました。

参考資料の統合準備委員会だより第3号をご覧ください、募集結果の方ですが、450名の応募がございまして統合校の新校名案として全部で86案ございました。統合準備委員会の方では多い順に示させていただき、検討させていただきました。次に遠距離通学地区についてご報告し、統合にあたり、現在二宮小学校地区の黒戸、真名、緑園台の3地区を遠距離通学地区とし、保護者の意向のもと、支援策を講じていくことを説明申し上げます。

議事の中ですが、まず新校名の絞り込みを行いました。(2)新校名候補の選定結果をご覧ください。選定の転換点としまして、現在の校名、現在の2つの校名を合わせたもの、全く新しい校名ということから協議しまして、5つに絞りました。ここに記載されているように「二宮小学校、緑ヶ丘小学校、二宮緑小学校、二宮みどり小学校、二葉小学校」、この5つを委員の協議のもと絞り込んだところでございます。実際に今後、教育委員会会議にてこの5つの中から、新しい1つの校名を選定していただくこととなりますので、よろしくお願いいいたします。

次に新校歌、新校章の作成及び決定までの経過について協議をいたしました。

参考資料の右下にあるようなスケジュールで決定していくことを確認いたしました。

なお、校歌については依頼先を教育委員会に一任されるとともに、含んでおきたいフレーズを募集することになりました。また校章についてはデザインを募集することといたしました。

最後に次期開催について決定し、終了したところでございます、以上です。

内田教育長 : それでは報告事項2について、ご質問等ございますでしょうか。  
私の方からなのですが、教育委員会で校名を1つに決めるということでしたので、今の統合準備委員会だよりを見ながら、私の方で付け足しをしておきますが、繰り返しになりますが、この統合準備委員会だよりの右上を見ていただくと、5つに絞られた校名は、番号が振られていますが順番ということではないのですよね。

保川 学校教育課長 : 統合準備委員会の方では順番を付けているわけではなく、選定理由として5つを挙げさせていただいたということでございます。

内田教育長 : 順番ではないということで、86案の中から、現在の校名2つと、旧校名を組み合わせ合わせた校名、全く新しい校名に絞ったということでございます。

そして次回の教育委員会会議でこの中から1つを選定するということでございます。

なお、その際にはやはりどういう理由でその校名にしたのかという理由が大事になるかと思うのですが、この準備委員会だよりの左側が参考になるのですが、応募者が新校名案を付けた理由が分類してみると4つに整理することができます。

1つ目が歴史と伝統、愛着のある現在の校名をもとにしたということ、2つ目が学校の設置場所がわかりやすいように地域名を入れたということ、3つ目が子どもたちが夢や希望を持って、学校生活を謳歌できるような校名にしたということ、4つ目が両校を公平に考えるようにしたということ、こういったような理由でした。

教育委員さん方にお知らせしますが、この表を見ると、校名と票数しか書いていないじゃないですか、ですが実際には校名を応募した人たちはなぜその校名にしたかという理由を書く欄があって、そこに皆理由が書いてあります。その理由を大まかに整理してみたら今の4つになったということになります。ですので、これはやっぱり参考になるのかなと。

それと今の茂原小学校って小学校が14校あるのですが、東郷小、豊田小、二宮小とついていくのですが、ほとんど地名なのですよね、地名で地域の小学校だよと大体創設されているのです。ただ、今回は統合するので、そこが難しいのですが、私順番に覚えているのですが、東郷小、豊田小、二宮小、茂原小、西小、五郷小、鶴枝小、萩原小、中の島小、本納小、新治小、豊岡小、東部小、緑ヶ丘小と殆ど地名でつけてある、やっぱり地名でつけてそれが百何十年と経つうちに伝統や誇り、そういった名前前に定着してきているのかなと思います。そういったところが今の説明に申し添えておきたいと思います。

高仲委員 : 準備委員会だよりの①、データが載っているのですが、この表現で「近隣の市町と比較して全体の応募数はとても多い結果となりました」とありますが、非常にあいまいで、この数字は非常に多いということなのでしょう。

保川 学校教育課長 : 近隣の睦沢とか長南等と比べますとかなり多いと、中には二桁という数字も出ているようですので、それに比べると450というかなり多い人数が応募していると考えています。

高仲委員 : それと、このデータのその他というのは地域住民という解釈でしょうか。

保川 学校教育課長 : 基本的に二宮と緑ヶ丘の学区にお住いの方ということですので、その中の小学生、中学生、高校生以外というふうに考えていただければよろしいので、ほぼ地域住民とみてよろしいかと。もしかしたら幼稚園生がいるかもしれませんが、そういうふうに解釈していいと思います。

高仲委員 : データで無効がいくつかあったということですが、これの数字はかなり多かったのでしょうか。

保川 学校教育課長 : 無効票は例えば重複している、同じ人が何個も出しているとかそういったものですので、数字的にはそれを除けばこの数とさほど大きな差はございません。

- 高仲委員 : この応募の地域住民の方のその他の312というのは、緑ヶ丘在住の人、あるいは二宮在住の人の回答数はそれぞれわかりますか。
- 保川 学校教育課長 : 統合準備委員会では、そこの辺は特に問われていない数字として特にやってはおりません。
- 内田教育長 : 住所を書いて投票させていると思うので、多分調べればわかると思うのですが。
- 高仲委員 : このデータを地域住民の声で緑ヶ丘在住の人たち、二宮在住の人たちが多く回答してくれたという捉え方でよろしいのでしょうか、偏りがなかったかどうか。
- 久我教育部長 : 統合準備委員会の資料としては、委員に対して地域をあまりイメージさせられなかったのが明確にはしておりませんが、緑ヶ丘を除く二宮地域、二宮小学校学区と緑ヶ丘学区は住所を書いているのでご提示はできます。  
どちらかという二宮の地域の方たちの応募数の方が多かったかなと記憶しております。住民登録自体はそんなに変わらないのですが、そこはきちんと整理してご提示できるようにします。
- 内田教育長 : 他にありますか。
- 高貫委員 : 同じデータのところなのですが、小学生で129人というのは両校の小学生が全員投票したということなののでしょうか。
- 保川 学校教育課長 : 全員というわけではないと思います。これは最終的には任意になりますので、その合計の数ということと考えていただければ。
- 久我教育部長 : 一応各学校では、皆に配っておりますが、強制的に出してねという働きかけはしていないと思っています。両校合わせて現在250位だったと記憶しておりますので、比較的児童さんは応募してくれたかなというふうに思っております。
- 内田教育長 : これは小学校1年生から6年生まで全部配ると、両校合わせて二百数十名になります。おそらく教室で配って、はい書いてという方式ではなく、家へ持ち帰って家族と相談させて提出させたという形だからこの数になっていると思います。
- 高貫委員 : 分かりました。
- 内田教育長 : 他にありますか。
- 齋藤委員 : 現状での私の考えは4番目の「二宮みどり小」です。理由はここに書いてある、対等な立場ですので両方の校名を入れたと、しかしながら、ひらがなにしたのはやはりこの方が柔らかくていいのではないかなと思います。  
今一つ気になったのは対等な立場だということに、なぜ二宮が先にいくのかとおそらくこういう方もいらっしゃると思いますが、歴史を考えると二宮さんが前に来る方が妥当ではないかと、そういうわけで私は4番目の「二宮みどり小」を推薦いたします。
- 内田教育長 : 他にありますか。
- 高貫委員 : これは、やはり今日言ったほうがいいのでしょうか。
- 久我教育部長 : 今日はいくまで報告事項、第1回第2回の準備委員会は今年7月の教育委員会会議で報告させていただきました。そして3回の方が終わりましたので、報告をさせていただいて次回12月でもう少し具体的に、ご意見いただくのも全然問題ありませんし、例えば文化について過去に整理した部分がありますが、もう少し歴史を説明してほしい、文化を説明してほしい、地域の意見について説明してほしいというようなお話を頂戴できれば、次回の教育委員会会議までにきちんと整理してご提示したいと思っておりますのでそういう面も含めてご意見頂戴できればと思います。
- 高貫委員 : 現時点での意見は、3番がいいかなと思います。  
両校を公平に考えるという意味で二宮と緑ヶ丘の両方の文字が入るといいということと、齋藤さんがおっしゃった緑がひらがなという話ですが、土地を連想できるという意味では緑ヶ丘という地名があるので、その緑が入っている方がいいかなと思ひまして、現時点では3番がいいかなと。  
緑ヶ丘の場合、西陵中もなくなってしまうという寂しさもあるかと思ったので、緑という字を残せばなというのが現時点での思いです。以上です。
- 高仲委員 : まだあいまいですが、私は1番の二宮小がいいかなという気がします。断言はまだしません。二宮小学校の沿革史をみたら昔は5つの地域位であったのですか

ね、二宮本郷村という表記があったんですよね、その時代から百何年と歴史があると歴史の長短では比較にはなりません、緑ヶ丘も歴史があります。

もう一つは、確か二宮という地名はないんですよね、字の二宮はない、二宮何番地というのはないのですよね、周りにあるのが二宮福祉センター、二宮保育所、皆二宮がくっついているのですよね、その中で二宮という名前は残しておきたいという気持ちがあるのです。

その辺の歴史と、伝統と、設置場所がわかるようなということから考えると二宮という名前は残しておきたいと。

内田教育長 : 応募数だけで言うと、二宮小が243票ということなのですよね。  
今日の時点での3人のお考えを伺ったら三者三様ということで、次の時の決め方も難しくなってくると思うのですが、1か月後に委員会がありますので、統合準備委員会だより等をもう一度よく読んでいただいて、今日、理由と自分の思っている校名を言っていたいただきましたが、教育委員会としても決めるにあたっては、教育委員会としての理由をもってやっていかなければいけないと思っていますので、皆さんが納得するというのは難しいかもしれませんが、いい校名に決められればと思います。そのことについては次回までの宿題としたいと思いますので、今日のところはこれでよろしいでしょうか。

各委員 : はい。

内田教育長 : それでは、次に報告事項3「令和2年茂原市成人式について」説明をお願いします。

佐久間生涯学習課長 : 報告事項3「令和2年茂原市成人式について」ご報告させていただきます。新たに成人の仲間入りをした方々の門出を祝うべく、令和2年1月12日(日)午前10時30分より、市民体育館を会場に成人式を挙行いたします。対象者につきましては、平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの方で男性が415名、女性が396名の計811名でございます。成人式の企画及び運営につきましては、新成人で構成されます運営委員会が当日の役割から式典後の記念行事につきましても行って参ります。なお、式典当日には駐車場係、来賓対応など、職員の協力なくして、運営はできませんので、お手数ですが教育総務課、学校教育課及び体育課におかれましては、後日開催いたします説明会とあわせてご協力のほどお願いします。  
以上よろしくお願ひいたします。

内田教育長 : それでは、令和2年茂原市成人式についてご質問等ございますでしょうか。

齋藤委員 : 体育館を使用するということですが、少しイメージがわからないのですが、どういうふうになるのでしょうか。

佐久間生涯学習課長 : 会場の設営につきましては、今回業務委託を行っております。アリーナを使いまして、真ん中に成人式の対象の方が入りまして、上の観覧席のところにご両親ですとか、そういった方たちが入ることを想定しておりますけれども、詳細につきましては今詰めているところですので、もうしばらくお時間いただきたく思います。

齋藤委員 : わかりました。

内田教育長 : 他にありますか。よろしいですか。それでは次に報告事項4「令和2年茂原市教育委員会会議等の日程について」説明をお願いします。

渡辺教育部次長 : 報告事項4「令和2年茂原市教育委員会会議等の日程について」ご報告いたします。

令和2年の日程につきましては、お手元の資料のとおり調整させていただきました。

会議の開始時刻は、15時としておりますが、2月の第2回定例会につきましては、15時から学芸等の功労者表彰式があることから、会議は13時15分からの開催を予定しております。

また、3月と9月には総合教育会議の開催を予定しております。13時15分から総合教育会議、15時から教育委員会会議を開催することで予定しております。

なお、会議日程は、議会対応等により変更が生じることもありますので、今までと同様に教育委員会会議の報告事項において、確定した2か月分の会議日程を報告してまいります。

よろしくお願ひいたします。

内田教育長 : 日程について何かありますか。

- 齋藤委員 : 差し替えをいただいたのですが、前のとどこが違うのですか。
- 小安係長 : 第1回の定例会なのですが、会場が901・902会議室となっています。
- 齋藤委員 : わかりました。
- 内田教育長 : 他にありますでしょうか。よろしいですか。それでは教育委員会会議の日程についてはそのようにお願いします。  
次に報告事項5「行事の共催、後援及び協賛について」説明をお願いします。
- 渡辺 : 教育委員会で共催、後援又は協賛を決定した行事について、ご報告いたします。
- 教育部次長 :  
令和元年10月に決定した行事は、「後援」につきましては生涯学習課で2件、「協賛」につきましては、生涯学習課で3件、合計5件でございました。  
よろしくお願いいいたします。
- 内田教育長 : それでは報告事項5について、ご質問等ございますでしょうか。他にありますでしょうか。よろしいですか。  
それでは次に、報告事項6「令和元年第8回（12月定例会）及び令和2年第1回（1月定例会）の茂原市教育委員会会議の日程について」説明をお願いします。
- 渡辺 : 令和元年第8回及び令和2年第1回の茂原市教育委員会会議の日程についてご報告いたします。  
第8回の12月定例会につきましては、12月18日の水曜日、15時より開催いたします。  
また、年が明けまして第1回の1月定例会につきましては、1月29日水曜日、15時より開催いたします。  
いずれもこちらの9階会議室で行います。  
なお、1月の定例会開始前には、14時から茂原市教育委員会感謝状贈呈式を5階503会議室で行います。  
よろしくお願いいいたします。
- 内田教育長 : 会議日程について、よろしいでしょうか。
- 各委員 : はい。
- 内田教育長 : それでは日程については、そのようにお願いいいたします。  
その他報告がありましたら、お願いします。  
なければ、以上で令和元年第7回教育委員会会議を閉会します。

茂原市教育委員会会議規則第27条の規定により、上記会議録が相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和元年12月18日

教育長 内田 達也

署名委員 高仲 輝夫

署名委員 齋藤 晟